

ふるさと講座・歴史系第3回目のお知らせ！

「擦文・アイヌ時代～オンネニクルの森を歩こう・野付 1.2 遺跡」

野付半島の自然、森に残された古代竪穴住居跡・チャシ跡を探索しようと思います。

- 日 時 平成 29 年 10 月 15 日（日）
午前 10 時～午後 2 時
- 場 所 野付半島
集合：野付半島ネイチャーセンター 2 階
- ガイド 郷土資料館職員
野付半島ネイチャーセンター職員
- 定 員 20 名・10 月 13 日（金）までに下記の方法
で申し込み下さい（先着順）
- 申込方法 電話・FAX・メールのいずれかにてお名
前・電話番号をお知らせください。
- その他 気候が変化しやすい時期なので、防寒着、長靴を着用ください。
昼食は現地で取りますので、お弁当、飲物を持参ください。



ふるさと講演会のお知らせ！

「風蓮湖と野付半島の成立ちを知る」

別海町の地形の成立ちについて、最新の研究成果をご紹介します。

- 日 時 平成 29 年 11 月 16 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時
- 場 所 別海町図書館 2 階視聴覚室（裏玄関からお入りください。）
- 講 師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 上級主任研究員 七山 太 氏
- 申込方法 11 月 15 日（水）までに電話・FAX・メールのいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。



●講演要旨（講師の七山太氏から）

根室海峡に面した別海町の海岸には、不思議な形をした地形がいくつも見られます。たとえば風蓮湖や野付半島のような地形は何時できて、これまでどのように姿形を変えてできたのでしょうか？また、皆さんがご心配になっているように、野付半島のナラワラやトドワラは本当に水没して近い将来無くなってしまおうのでしょうか？その秘密を少しずつ紐解いていくと、別海町を含めた道東全体に関わるダイナミックな自然の営みが見えてきます。私の講演では、皆さんに分かりやすく、別海町の海岸地形の成り立ちについてご紹介できればと思います。

新展示資料のご案内

奥行臼駅・旧別海村営軌道風蓮線奥行臼停留所ジオラマ(郷土資料館第2展示室に展示)



●奥行臼駅(町指定文化財)

根室原野の開拓と産業の振興を促進するために敷設された標津線の中で、別海駅と並び一番古い歴史を誇り、昭和8年12月1日に営業を開始しました。以後、平成元年4月29日の廃止までの55年間本町の南の玄関口として産業・経済・文化の発展に重要な役割を果たしました。

●旧別海村営軌道風蓮線奥行臼停留所(町指定文化財)

道開発事業として実施され、完成とともに村と管理委託を締結し、昭和38年12月17日に国鉄奥行臼駅から上風連小学校まで開通、昭和39年には役場上風連出張所まで延長されました。この軌道は、同地域唯一の交通機関であり、風雪にも堪える近代設備は、地域住民の交通手段だけではなく生活・生産物資の輸送に大きく貢献し、昭和46年3月まで運行されました。

別海町の漁業

野付湾の打瀬舟漁

(郷土資料館展示室に展示)



●野付湾の打瀬舟漁

北海シマエビが生息する野付湾は、干潟が露出するほど浅い海域にアマモやスガモが密生しています。これらの藻は北海シマエビをはじめ多くの生物たちの産卵場であり、この藻場を漁船のスクリューで荒らしてしまわぬように、明治時代から伝わる打瀬舟を使って漁が行われています。

別海町郷土資料館だより No.219

発行日 平成29年10月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

秋が日に日に深まって行きますが、今月・来月と野付半島をテーマにした講座・講演会が開催されます。ぜひ、ご参加いただければ幸いです。また、当館スタッフによる手作りジオラマも館内展示室にてお披露目しておりますので、ご来館お待ちしております。(石渡)